

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	三重県
取組市町村名 取組団体・企業名	三重県立かがやき特別支援学校あすなる分校（小学部）
取組の名称	高級京野菜の万願寺とうがらしを育てて食べてみよう
実施時期	5月2日（月）苗植え 5月9日（月）苗（生命）の世話について学習 6月6日（月）コンパニオンプランツを植える 6月14日（火）収穫・調理実習（1回目） 6月28日（火）収穫・調理実習（2回目）
取組内容	<p>5月2日（月）「苗を植えよう」</p> <p>万願寺とうがらし、ししとう、なす、ピーマンの苗を植えました。事前に、ポットからの苗の出し方、定植前に、根をほぐす、土に穴をあけ水をまくなど、定植の仕方を教室で学習してから、活動に移行しました。最初、土を触ることに抵抗があった児童も、植える野菜を選ばせることで、一連の流れで定植することができました。</p> <p>5月9日（月）「どんな野菜に育てたい？」</p> <p>動植物の差異に注目させ、植物が生物であることを学習しました。その後、支柱を立てたり、草を抜いたりして畑の世話をしました、ダンゴムシがいること、少し育っていることなどを確認しました。この日から、水やりと追肥をしました。</p> <p>6月6日（月）「今育てている野菜について」</p> <p>万願寺とうがらしが京野菜であること、辛味がないこと、5年理科で学習中だったおしべとめしべの学習も絡めながら、説明をしました。また、野菜にはコンパニオンプランツがあること、万願寺とうがらしには大豆などの豆類と一緒に植えるとよいことを学習しました。</p> <p>6月14日（火）・28日（火）「収穫&amp;調理実習」</p> <p>緑色の葉の中から緑色の実を探すとといった宝探しのような楽しさを味わいながら収穫できました。軽く洗って、ホットプレートで焼き、最後に醤油をかけました。初めて食べる万願寺とうがらしは、辛くないかドキドキの様子でしたが、全員がおかわりしたいと申し出たほど美味でした。偏食の児童が多い中、自分で育てて食べることは、食べ物への安心感につながる活動となりました。</p>

